

職員による自己評価

A環境面

- ・現状では問題ない
- ・利用者が増えた場合、1対1での対応が難しくなることが不安である

B児童への支援内容

- ・子どもごとに考えてプログラムを提供している
- ・支援の準備や記録をしっかりと行えている

C関係機関との連携

- ・学校との情報共有ができていない子どもにばらつきがある

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・その日にあった出来事や勉強内容を保護者に伝えられている
- ・保護者に向けてマニュアルの周知ができていない

E非常対応

- ・非常時対応を含めた研修の機会が少ない

保護者による評価

A環境面

- ・概ね満足している

B児童への支援内容

- ・支援内容としては概ね満足している
- ・利用時間が短いと感じることがある

C事業所からの情報発信

- ・保護者同士の連携や、苦情時の対応についてはあまり行われていないが、概ね満足である

D非常対応・避難訓練が行われていない

- ・実際起きていないのでわからない点もあるが、概ね満足している

事業所内での分析

【共通点】

- ・支援内容については概ね問題ない
- ・避難訓練を含めた、非常時対応の研修が不足している

【相違点】

- ・利用時間が短いと感じることがある
- ・学校との連携ができていない子どもとできていない子どもがいる
- ・職員を1対1で配置できないことへのスタッフの不安

分析・検討してみて…

事業所の強み

・一人一人の特性に合わせて工夫したプログラムを作成し、提供できている

事業所の改善点

- ・非常時に備えた訓練等を増やす
- ・子どもの支援が1対1以上になった時でも、基準内の配置であれば対応できるよう、スタッフのスキルアップを図る
- ・子どもの利用時間について検討する

事業所の改善への取り組み

- ・訓練や研修の機会を増やすため、これまではスタッフの勤務や業務状況を見て不定期で行っていたものを、事前に年間計画に組み込み、参加できなかったスタッフについては後日資料などを配布するなど、研修内容が共有できるように努める。
- ・利用者が増えても支援の質を落とすことが無いよう、内外問わず療育研修を行うことで、スタッフのスキル向上を図り、自信をもって支援に臨めるようにする。
- ・利用時間については、今後学年が上がり、来所時間が遅くなる児童が増えていくことが予想されるため、スタッフの勤務体制を見直し、保護者の意見を要望を確認した上で、退所時間の変更や支援時間の延長などを検討していく

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

普段なかなかヒアリングできない、運営に対する保護者様やスタッフの意見を直に聞くことができました。今回の自己評価結果をもとに、出来る事から改善を行い、より良い事業所運営が行えるように尽力していきたいと思います。

保護者の皆様には、お忙しい中アンケートにご協力いただきありがとうございました。

事業所名 _____ さに一さいどあっぷ！

担当者 _____ 青木 由佳